

久留米市内単位互換協定校

久留米大学 久留米工業大学 聖マリア学院大学 久留米工業高等専門学校

令和8年度 久留米市内単位互換協定校による

「共同講義」 開講のお知らせ

受講料
無料

テーマ「久留米における暮らしと未来 ～SDGsの実現に向けて～」

久留米市では、市内にある4校の大学等が単位互換協定を締結したことから、毎年多数の科目が公開され、学生の皆さんが他の大学等の講義を履修した場合に、所属する大学等の単位として認定ができるようになっております。

この単位互換の一環として単位互換協定に参加している4校の大学等と久留米市が連携して、毎年一つのテーマを認定し、各校の個性や特色を活かした講座を開講する「共同講義」を実施しています。今年度もオンライン講座にて、市民公開の共同講義を以下のように開講します。様々な視点から学ぶことができる貴重な機会ですので、意欲と関心のある学生・市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。



日時 2026年 10月2日（金）～12月1日（火） 13時00分アップロード

「Moodle」によるオンライン講座（オンデマンド形式）

主催 高等教育コンソーシアム久留米

定員 60名

共催 久留米学術研究都市づくり推進協議会

※申し込み期間：9月1日（火）～9月18日（金）

10/2 （金）	3 すべての人に 健康と福祉を	久留米大学 人間健康学部スポーツ医科学科 准教授 松永 裕	11/10 （火）	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	久留米工業大学 機械システム工学科 特別教授 鳥居 修一
10/6 （火）	3 すべての人に 健康と福祉を	久留米大学 人間健康学部スポーツ医科学科 教授 右田 孝志	11/13 （金）	9 産業と資源循環の 革新を促す	久留米工業大学 教育創造工学科 教授 金井 政宏
10/13 （火）	3 すべての人に 健康と福祉を	久留米市 子ども未来部 こども子育てサポートセンター 主任主事 田中 小夜子 小宮 真実	11/17 （火）	6 安全な水とトイレ を世界中に	久留米市 上下水道部 上水道整備課 課長補佐 薄 俊宏 主任主事 黒田三紀子 下水道整備課 課長補佐 堀 智明
10/16 （金）	13 気候変動に 適応する	久留米市 環境部 環境政策課 課長補佐 告 協助	11/20 （金）	4 質の高い教育を みんなに	久留米大学 商学部 教授 穴澤 務
10/20 （火）	1 貧困をなくそう	久留米大学 基盤教育研究センター 教授 中村 寛樹	11/24 （火）	4 質の高い教育を みんなに	久留米市 教育センター 所長 大鶴 浩子
10/23 （金）	9 産業と資源循環の 革新を促す	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 准教授 渡邊 勝宏	11/27 （金）	3 すべての人に 健康と福祉を	聖マリア学院大学 看護学部 准教授 中村 真弓
10/27 （火）	3 すべての人に 健康と福祉を	久留米工業高等専門学校 電気電子工学科 特任教授 越地 尚宏	12/1 （火）	3 すべての人に 健康と福祉を	聖マリア学院大学 看護学部 准教授 本田 歩美
11/6 （金）	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	久留米市 都市建設部 設備課 課長補佐 相園 譲光	全15回:オンデマンド講義出席+レポート提出		

申込・お問い合わせ先

高等教育コンソーシアム久留米
サテライト・キャンパス事務室
久留米大学 地域連携センター事務室
TEL・FAX：0942-43-4413

一般の方のお申し込みはQRコード
若しくはホームページからもお申込みできます。

高等教育コンソーシアム久留米



開講日	講 師	演 題	講 義 内 容
10/2 (金)	松永 裕 (久留米大学人間健康学部 スポーツ医科学科 准教授)	運動と栄養摂取によって 起こる身体の変化	健康の維持増進のためには、定期的な運動と適切な栄養摂取が推奨されています。これらはあるような仕組みで成り立っているのでしょうか？本講義では、運動や栄養摂取が身体に与える影響について紹介します。
10/6 (火)	右田 孝志 (久留米大学人間健康学部 スポーツ医科学科 教授)	健康・体力の中心的課題 ～筋力と持久力～	健康の維持増進やスポーツを楽しむために体力が重要です。まずは体力について考えましょう。その上で、体力の構成要素であり、柱となる重要な筋力と持久力について考えてみましょう。
10/13 (火)	田中 小夜子 小宮 真実 (久留米市 子ども未来部 子ども子育てサポートセンター 主任主事)	プレコンセプションケア ～人生の選択肢を豊かにする ヘルスケアとライフプラン～	自分らしい人生を描く土台として、プレコンセプションケア（女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと）を学ぶ講義です。将来の妊娠や出産に限らず、あらゆるライフプランの選択肢を広げ、未来を豊かにデザインするために今からできるヘルスケアについてお伝えします。また、将来、出産や子育てについて考えたときに安心して新たなステージに進めるよう、久留米市でサポートしている取り組みについてもご紹介します。
10/16 (金)	皆 協助 (久留米市 環境部 環境政策課 課長補佐)	久留米市環境基本計画の 読み方 ～エコは修行じゃ ありません。暮らしをよくするも のなのです～	待ったなしと言われる環境問題への対応。しかし、「エコ」に対して、我慢や難しいイメージを持つ方が多いと思います。そのようなイメージを変え、みんなが参加したいと思うような仕掛けが求められる中で、久留米市は環境基本計画を策定しました。その内容について説明を行い、どうすれば環境配慮活動が広がるか、皆さんのご意見もいただきたいと思います。社会人として必須の「サステナブル」について、学んでおけば就活にも役立つはず！
10/20 (火)	中村 寛樹 (久留米大学 基盤教育研究センター 教授)	地域づくりと ソーシャル・ビジネス	持続可能な開発目標（SDGs）の達成には、「地域」の視点と、社会課題を解決する事業をつくるという視点が必要不可欠です。本講義では、それら2つの視点からSDGsについて考えてみたいと思います。
10/23 (金)	渡邊 勝宏 (久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 准教授)	久留米におけるゴム産業の 歴史と未来 ―ゴム産業の サステナブル化への取り組み	久留米の基幹産業であるゴム産業にスポットを当て、その歴史的背景に触れながら、サステナブル化に向けた今後のゴム産業の展望について考えてみたいと思います。
10/27 (火)	越地 尚宏 (久留米工業高等専門学校 電気電子工学科 特任教授)	アシスティブテクノロジーがひらく 共生社会の未来 ― AI・ ICTは人をどう支えるのか ―	少子高齢化や人口減少、AI・ICTの急速な発展など、私たちを取り巻く社会は大きく変化しています。こうした中、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、人を支えるアシスティブテクノロジーへの期待が高まっています。本講義では、その基礎や最新事例を紹介するとともに、技術が人や社会に果たす役割や、その可能性について考えます。
11/6 (金)	相園 譲光 (久留米市 都市建設部 設備課 課長補佐)	既存公共建築物 ZEB化について	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、国や地方自治体等による率先した取り組みを求められています。久留米市においても、2050年までにCO2 排出量実質ゼロを目指し、既存公共建築物のZEB化に取り組み、全国初の既存公共建築物での『 ZEB 』事例をもとに皆さんと考察し、SDGs について考えてみたいと思います。
11/10 (火)	鳥居 修一 (久留米工業大学 機械システム工学科 特別教授)	エネルギーと脱炭素化 (一例として：廃棄バイオマス を用いた創エネ)	国内外のエネルギー事情の過去、現在、将来について解説する。同時に、地球温暖化対策としての脱炭素、その対応策としての再生可能エネルギーについて概説する。更に、廃棄バイオマスを活用した創エネルギーの事例紹介を行う。
11/13 (金)	金井 政宏 (久留米工業大学 教育創造工学科 教授)	渋滞学：物理と数学から生 まれた新しい科学	流れのあるところには必ずと言っていいほど渋滞が発生します。車の渋滞に限らず、人の混雑・物流の停滞・情報通信の遅延など、私たちの周りは渋滞だらけです。このように私たちが無意識に同じ現象と感じている様々な渋滞、その根底にある共通のメカニズムを解明し、渋滞問題を解決しようとする科学が渋滞学です。この講義では渋滞学をやさしく解説していきます。
11/17 (火)	薄 俊宏（上下水道部 上下水道整備課 課長補佐） 黒田三紀子（同 主任主事） 堀 智明（上下水道部 下水道整備課 課長補佐）	久留米市の 上下水道事業について	私たちが日常使用している水道や下水道について、久留米市の取り巻く現状や今後の課題を一緒に学びましょう。
11/20 (金)	穴澤 務 (久留米大学商学部 教授)	データサイエンスのススメ ～いつでも、どこでも、 そして誰でも～	今日、国をあげてデータサイエンス（以下、DS）の学修が推奨されています。しかし、その盛り上がりは今一つです。その理由は、DSイコールAI→AIは理系的で敷居が高い・学修するにもお金がかかりそう、というネガティブな印象があるからでしょう。この講義では、DS≠AI（むしろDSの中核はデータ分析）→データ分析は文系の人でも手軽にできる・ネットにつないでPCで誰でも楽しめることを体感します。
11/24 (火)	大鶴 浩子 (教育センター 所長)	未来の学び、未来の教育に チャレンジ	子供たちを取り巻く現状や、今、学校で進められているG I G Aスクール構想などの新しい教育の流れについて知り、久留米の子もたちの未来の学び、未来の教育に必要なことを考えましょう。
11/27 (金)	中村 真弓 (聖マリア学院大学看護学部 准教授)	少子化時代の地域医療と SDGs ～「医者のみち・久留 米」から考える子どもの未来～	久留米市における地域医療の課題を踏まえ、SDGsの知識と専門性を活かし、子どもの未来と笑顔を守る方法を一緒に考えてみましょう。
12/1 (火)	本田 歩美 (聖マリア学院大学看護学部 准教授)	家族をケアするということ ― 高齢者介護と 家族支援を考える ―	仕事をしながら高齢者を介護する家族が増えています。高齢者を介護する家族が直面する現状や課題を理解するとともに、家族を支える地域・行政・企業などの役割について考えます。

申込期間

9月1日（火）～9月18日（金） ※定員（60名）に達し次第締め切らせて頂きます

出願手続

学生の皆さんの履修や出願手続きについては、所属校の窓口にお問い合わせください。

★久留米大学 御井学舎事務部教務課

TEL：0942-44-2071 / FAX：0942-43-0574

★久留米工業大学 教務課

TEL：0942-22-2348 / FAX：0942-21-8770

★聖マリア学院大学 教務課

TEL：0942-35-7271 / FAX：0942-34-9125

★久留米工業高等専門学校 学生課

TEL：0942-35-9315 / FAX：0942-35-9319

一般の方のお申し込みは、表面のQRコード若しくはHP（ 高等教育コンソーシアム久留米）からお願いします。